

「うちに帰ろう」模擬訓練 ～認知症の本人を地域で見守ろう～ 2024 を開催しました！！

<実施概要>

日時：令和6年11月9日（土）午前9時30分から正午まで
 会場：不忍通りふれあい館（文京区根津2-20-7）
 協力：根津弥生七ヶ町連合会
 参加者：40名（受講：23名/スタッフ：17名）

平成27年度から事業を開始し、今回で9回目の開催となりました！（令和2年度は中止）
 これまでに18町会と1町会連合会、今年度は根津弥生七ヶ町連合会の皆様にご協力をいただきました。

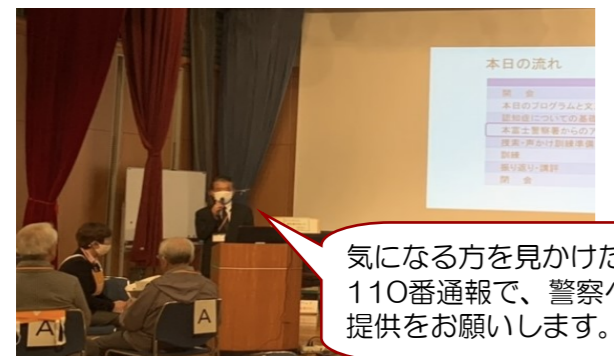
訓練では、認知症の症状による行方不明者を発見した時に、どのように声をかければよいか？
 どう対応すればよいか？を、行方不明者（役）とのやりとりを通じて体験していただきました。

根津弥生七ヶ町連合会等から23名にご参加いただきました！

① まずは、講師による
 「認知症の人への対応のポイント講座」



② 次に、本富士警察署から
 「認知症の症状による行方不明に対するアドバイス」

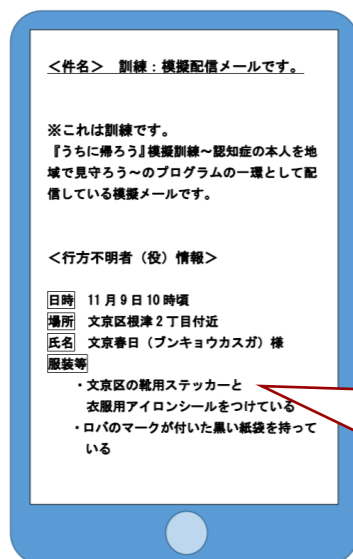


気になる方を見かけた時は、
 110番通報で、警察へ情報
 提供をお願いします。

③ 声かけ体験の前に検索エリアや行方不明者の情報を確認



検索エリアの地図



ただいま支援SOSメール（※）
 模擬配信



声をかける前にさりげなく様子を見守ります



行方不明者が驚かないように正面から、
 目線を合わせて1～2人で声をかけます。

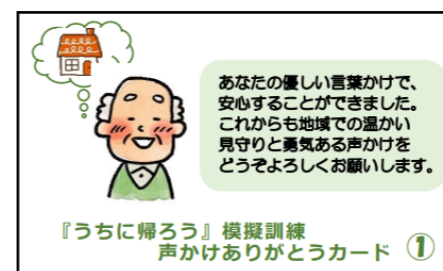
※認知症の症状による行方不明が生じた際、受信協力
 していただいている方々に一斉にメールを送信し、
 可能な範囲で捜索にご協力いただく仕組みです。
 当日は模擬メールを配信しました。

④ ～いざ、声かけ体験～

行方不明者（役）は全部で4名
 「病院に行こうと家を出たが、どこに行こうとしたのかわからなくなった・・・」「大切な家族が見当たらず不安
 になり外へ探しに出たら、道に迷ってしまった・・・」
 行方不明になった状況は様々です。



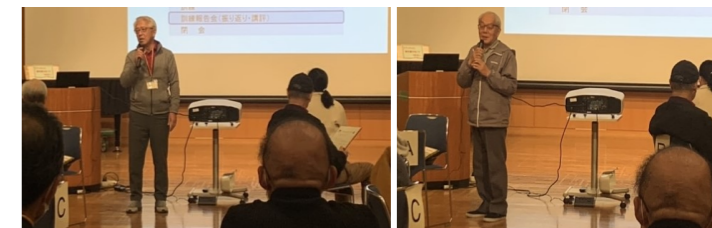
相手のペースにあわせて穏やかな
 口調で話をします。



安心できる声かけができた方には、行方不明者
 （役）から感謝を込めて「声かけありがとう
 カード」が手渡されました！

⑤ 振り返り・講評

参加者・行方不明者役、それぞれの立場で
 感想や気づきを共有し、今後への備えとしました。
 最後に町会長様からお話いただきました。



参加者の声（一部抜粋）

<感想や意見>

- *声かけには小さな勇気が必要だと思った。この経験を活かし勇気を出して接したい。
- *色々な事情で外出する方がいることを理解でき、まず安心させることの大切さを実感した。
- *認知症にも様々な症状があるので、相手の様子をよく見極めることが大事だと思った。
- *他地域からの一人歩きの場合は、会話の進め方が難しい。

<地域で認知症の方を支えるために必要なことは？>

- *普段からのコミュニケーションが大事で、特に一人暮らしのお年寄りを把握しておく。
- *地域の繋がりを今以上につくっていくこと。
- *気になる方がいた時は、まずは声をかける。
- *地域内で、日頃の挨拶を多くすることが重要。

<行方不明者役の感想>

- *地域の方に声をかけていただき、近くに病院があるなど色々な情報を教えてもらうことができ安心に繋がった。
- *声をかけてくれる人と目が合うと安心できた。

～講師より～

気になる方を見かけたら少し様子を見守りましょう。
 声をかける時は挨拶して、自分の名前を先に伝えると相手も安心します。勇気がいりますが、見過ごさないことが大切です。不安になっているご本人は、寄り添ってもらって安心していただけます。
 1人で解決しようとせず、警察への110番や周囲に協力を求めましょう。

町会のみなさま
 事業へのご理解、多大なご協力をいただき
 ありがとうございました！

文京区福祉部高齢福祉課 認知症施策担当
 ☎03（5803）1821